

## 2022 年度秋学期 授業評価アンケート実施報告

### <実施概要>

2022 年度秋学期の授業評価アンケートは、全科目において CUC PORTAL (WEB) を用いて以下の日程で実施しました。

【国際教養学部 3Q 科目】2022 年 11 月 16 日(水)～2022 年 12 月 5 日(月)

【全学部秋学期セメスター科目・国際教養学部 4Q 科目】2023 年 1 月 16 日(月)～2023 年 2 月 6 日(月)

質問項目については前学期と同様、「遠隔授業の受講状況(使用端末や通信環境)を把握する設問」、「授業の満足度やシラバス通りに進捗したか等の授業内容に関する設問」、「予習・復習等の授業に対する取組及び学習意欲科目の需要等の把握に関する設問」、「ディプロマ・ポリシーにおける CUC6つの能力要素に基づく学修成果の把握に関する設問」から構成しています。(次頁参照)また「教員として相応しくない言動があったか」という自由記述設問を設けています。

### <集計方法>

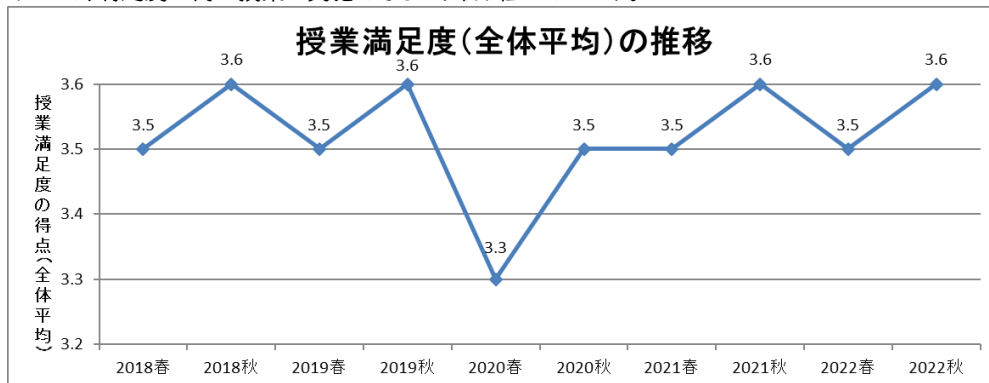
CUC PORTAL から抽出したアンケートデータを基に、選択式の項目は集計処理をし、自由記述項目は回答内容に全て目を通し、後に詳述する授業担当教員へのヒアリングなどの個別対応を行う授業を抽出しました。

### <結果の報告>

CUC PORTAL 上で、学生に対しては履修科目のアンケート集計結果、教員に対しては担当科目のアンケート集計結果及び自由記述項目を開示しました。その際、回答した学生本人は特定できないようにしました。

### <アンケート結果に基づく改善の取組など>

**授業満足度** 2022 年度秋学期の授業満足度に関する項目(※)の得点の全体平均は 3.6 であり、過年度からの推移は以下のとおりです。一部科目において遠隔授業が継続して実施されているなかでも、コロナ禍以前と同等の水準を維持する結果となりました。引き続き FD 等により大学全体で授業実施に関するノウハウを共有していくことで、満足度の高い授業を実施できるよう取り組んでいます。



※項目 10 「この授業は十分満足できるものであった。」という設問の回答について、以下の通り得点を算出している。  
「あてはまる=4 点」、「どちらかといえばあてはまる=3 点」、「どちらかといえばあてはまらない=2 点」、「あてはまらない=1 点」

**改善の取組** 自由記述項目において「相応しくない言動」や「改善すべき点」として指摘などのあった授業の担当教員に対して、適宜ヒアリングや注意喚起を実施しました。

**教員のコメント** (一部抜粋) ・この度のアンケート結果は私の中でも非常に意味のあるものでした。というのも私は常に学生の感想と要望からオリジナルのテキストを作り上げ、学生との双方向の関係を実現していったからです。その結果はオンデマンド授業でありながらリアルタイム型オンデマンドといった新しい学生との関係を作り上げ、学生の皆さんにとって実りある授業になったのだと確信することができました。さらに研鑽し新たな視点で講義に取り組んでいく予定です。

・本科目は、アクティブラーニングの下支えをする科目であると学生から評価されてきました。というのもアクティブラーニングは複雑な人間関係を乗り越えていかなければならない、そういう難所の科目だからです。そこには温度差があり、メンバー間の葛藤と対立が生まれます。しかしこのような難問をいかに乗り越えていくかをこの科目である程度示せたのではないかと実感しております。これからも研鑽していきたいと思っております。

<集計結果>

回答対象総数※	実回答総数	回答率
48,830	20,249	41.5%

※回答対象総数(回答率の分母)は、全科目の履修者数(のべ数)の総計です。

<選択式項目の全体集計結果>

No	質問	回答					
		対面での受講	遠隔:PC	遠隔:タブレット	遠隔:スマートフォン	遠隔:その他	
1	この授業の受講方法について選択してください。(複数の方法で受講した場合は一番多かったものを回答してください。)	対面での受講 54.9%	遠隔:PC 43.0%	遠隔:タブレット 0.4%	遠隔:スマートフォン 1.6%	遠隔:その他 0.1%	
2	この授業の形式について選択してください。(複数の方法で実施された場合は一番多かったものを回答してください。)	対面形式 53.4%	教科書または資料等+文字解説資料+課題 10.4%	教科書または資料等+音声データ+課題 16.5%	教科書または資料等+動画データ+課題 8.7%	教科書または資料等+リアルタイム配信+課題 10.7%	その他 0.3%
3	この授業を受講する上で、受講環境面(通信環境面、CUC PORTALやTeams等のソフト等)で困ったことがあった。	あった 3.6%	なかった 64.5%	対面での受講のためなかった 31.9%			
4	この授業では、既定の時間割の毎回の授業時間内に、担当教員からコミュニケーション(授業・質疑応答等)を取れる環境が提供されていた。	提供されていた 63.7%	ほぼ提供されていた 27.8%	あまり提供されていなかった 6.4%	提供されていなかった 2.1%		
5	この授業はシラバスの内容通り進行されていた。	当てはまる 78.1%	どちらかといえば当てはまる 20.3%	どちらかといえば当てはまらない 1.2%	当てはまらない 0.4%		
6	TA・SAの支援は授業の理解に役立っていた。	TA・SAはついていない 80.3%	当てはまる 13.2%	どちらかといえば当てはまる 3.9%	どちらかといえば当てはまらない 0.9%	当てはまらない 1.7%	
7	この授業は学生に主体的な学修を促すような工夫がなされていた。	当てはまる 67.4%	どちらかといえば当てはまる 28.6%	どちらかといえば当てはまらない 3.0%	当てはまらない 1.0%		
8	この授業の内容において他の授業でも取り入れてほしいと感じたことや良かった点があった。	あった 13.6%	なかった 86.4%				
9	この授業の内容において困ったことや改善してほしいことがあった。	あった 5.5%	なかった 94.7%				
10	この授業は十分満足できるものであった。	満足できる 63.5%	どちらかといえば満足できる 32.5%	どちらかといえば満足できない 3.1%	満足できない 0.9%		
11	この授業に主体的に取り組んだ。	主体的に取り組んだ 61.1%	どちらかといえば主体的に取り組んだ 34.8%	どちらかといえば主体的に取り組まなかった 3.5%	主体的に取り組まなかった 0.6%		
12	この授業で1回の予習と復習に使う合計の平均時間について選択してください。	3時間以上 4.5%	2時間以上・3時間未満 8.9%	1時間以上・2時間未満 32.0%	1時間未満(0分除く) 44.3%	0分 10.3%	
13	この授業を履修する際にカリキュラムマップを確認した。(カリキュラムマップは本学のWebサイトに掲載していません。)	確認した 72.9%	確認していない 27.1%				
14	カリキュラムマップにおけるこの授業の関連科目を履修したいと思った。	思った 47.7%	どちらかといえば思った 36.8%	どちらかといえば思わなかった 8.2%	思わなかった 7.2%		
15	本学で身に着くCUC6つ能力要素のうち、この授業を通じて伸びたと実感したものについて選択してください。(複数選択可)	社会規範意識・誠実さ 14.8%	主体性・責任感 13.3%	チャレンジ精神・実践力 13.1%	相互理解・コミュニケーション力 12.0%	普遍的な知識・技能 20.6%	専門的な知識・技能 26.2%
16	シラバスに記された科目の到達目標は達成できた。	達成できた 56.3%	どちらかといえば達成できた 39.6%	どちらかといえば達成できなかった 3.3%	達成できなかった 0.8%		

※回答割合に下線が引いてある項目は、前学期よりも1ポイント以上選択率が増加しました。

<前学期との比較>

上表の通り、前学期と比較し、「この授業は学生に主体的な学修を促すような工夫がなされていた。」「カリキュラムマップにおけるこの授業の関連科目を履修したいと思った。」などの項目において、「当てはまる」「思った」など、前向きな回答が増加しました。